



校長室だより

2023年12月22日

校長 橋本 顕嗣



今年もありがとうございました

早いもので、令和5年もあとわずかとなりました。今年も本校の教育活動に対しまして保護者の皆様、地域の皆様から温かい御支援を賜りましたことに感謝いたします。おかげさまで子供たちは学校、家庭、地域で学び、大きく成長することができました。今後とも、御理解と御協力をお願いいたします。

さて、本日、12月22日は今年最後の授業日・登校日でした。2学期の途中ではありますが、大きな節目ですので、今年を振り返り、来年の目標を考えて、意欲的に生活してほしいと思い、私から全校児童に次の内容を話しました。

三日坊主の話

みなさんは三日坊主を知っていますか。三日坊主という人が実際にいるわけではありません。言葉の由来は、一人前の僧侶・坊主になることを志したが厳しい修行に耐えられず、3日ほどであきらめてしまう修行僧の様子からきていると言われていています。3日とは短い期間という意味です。辞書で調べると、「非常に飽きやすく長続きしない人をあざけていう語」とあり、何かを始めても長続きしない人をとがめるときに使われています。つまり、褒め言葉ではありませんね。でも、ここで私は考えてみました。どうせ三日坊主になるのだからやらない方が良いと考えると、挑戦しようとする気持ちがしぼんでしまいますね。みなさんも三日坊主を恐れて行動できなかったことはありませんか。私はどうせ無理とやらないよりは、三日坊主でもいいからやってみようがよっぽど良いし、何かしら得るものがあると思うのです。途中で諦めることを勧めているわけではありません。自分で決めて、行動をおこしてみることが大切だという意味です。

私も、三日坊主でしたが、やって良かったと思っていることがあります。20年くらい前の正月のことです。自分の生活のことや思ったことなどを日記に書こうと思い立ち、1月1日から書き始めました。毎日、手帳に数行ずつ……。1か月もたたずに途切れました。でも、その時に書いた自分の気持ちは本心でした。今でも心に残っていて、とても大切にしています。これとは逆に、興味本位で思い立って始めたことがしばらく続いたこともあります。毎日走ってみようかなと思い立って、家のまわりを一人で走り始めたら、楽しくなって、マラソン大会10キロ部門に3年続けて出ました。(20年以上前のことで、今は飼犬と一緒に散歩です。)そして、実は三日坊主を恐れずもう一度やってみたいことがあります。司馬遼太郎の「飛ぶが如く」文庫本版全10巻の読破です。以前、購入して読んでいて止まっていた。令和6年に向けて、私は三日坊主を歓迎します。始める前から諦めないでチャレンジしてみませんか。

冬休みは短いですが、交通事故に遭わないように十分気を付けて過ごしてください。

〔 お願い 〕

今後も「学校だより」「校長室だより」「学校ホームページ」等で学校からの情報発信に努め、風通しの良い学校を作っていくために努力して参ります。御意見、御提案、御要望等は随時学校までお知らせくださいますよう、お願いいたします。